



平成 28 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 佐々木 朗
 (コード番号 5541 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 菅井 一之
 (TEL 03-3201-6681)

固定資産の減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)において、特別損失として固定資産の減損損失を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、平成 28 年 2 月 5 日に発表した平成 28 年 3 月期通期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●固定資産の減損損失の計上について

平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)において、ニッケル事業の事業環境悪化等により、ニッケル事業に関連する事業用資産の回収可能価額が帳簿価額を下回ることとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、特別損失として減損損失 26,038 百万円を計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 2 月 5 日発表)	百万円 47,936	百万円 △14,876	百万円 △11,741	百万円 △12,394	円 銭 △63.51
今回修正予想 (B)	47,649	△15,357	△12,283	△38,369	△196.62
増 減 額 (B-A)	△287	△481	△542	△25,975	
増 減 率 (%)	△0.6	—	—	—	
(参考) 前期実績(平成 27 年 3 月期)	61,225	△7,787	△91	△1,611	△8.26

2. 修正の理由

連結業績予想について、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用 LME ニッケル価格は、不安定な国際金融市場及び中国経済成長の減速等、軟調な動きが継続しており、業績に大きな影響を与えております。

この事業環境が当面継続する見通しであることを踏まえ、ニッケル事業に関連する事業用資産の回収可能価額が帳簿価額を下回ることとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、特別損失として減損損失 26,038 百万円を計上する見込みとなりました。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)前提条件の修正

	販売数量 (T/Y)			生産数量 (T/Y)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb.)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成 28 年 2 月 5 日)	17,347	16,953	34,300	18,357	18,515	36,872	5.58	4.25	4.92	120.91	120.53	120.72
今回修正予想	17,347	17,178	34,525	18,357	18,335	36,692	5.58	4.20	4.90	120.91	119.02	119.97
(参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	18,216	14,058	32,274	15,727	13,923	29,650	8.10	7.15	7.69	102.30	114.76	107.73

以上